

# 大江戸線延伸後のまちの**将来像**を考えてみませんか？

## 第1回オープンハウス

令和8年

2026

5/14(木) →

令和8年

2026

5/16(土)



### 内容

### パネル 番号

大江戸線の延伸について

1

延伸地域のまちづくりについて

2

まちづくりデザインの概要

3

まちづくりデザイン策定に向けて

4

アンケート調査の実施報告

5

(仮称)大泉学園町駅予定地周辺の現況

6

(仮称)大泉町駅予定地周辺の現況

7

(仮称)土支田駅予定地周辺の現況

8

### 沿線全体や各駅予定地周辺の 魅力・課題・将来像

について想い・考えを教えてください！



## 1 大江戸線の延伸の概要

「大江戸線の延伸」は、現在、光が丘駅まで整備されている地下鉄大江戸線を土支田・大泉町・大泉学園町地域を通り、JR 武蔵野線東所沢駅方面まで延伸する計画です。このうち、大泉学園町までの区間で検討が進められています。

<凡例>

- 大江戸線延伸検討区間
- 引上げ線

【出典】大江戸線延伸にかかる庁内検討プロジェクトチーム（現在の検討状況について）（令和7年10月、東京都）を基に作成  
 ※今後、検討の進捗により、記載内容は変更となる可能性があります。



### 光が丘駅～（仮称）大泉学園町駅間の延伸に関する現時点での試算結果

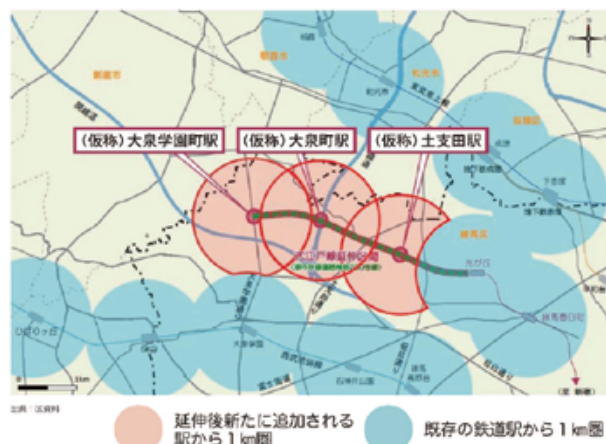
- 概算事業費：約 1,600 億円（税抜き）
  - 旅客需要：約6万人増/日
  - 費用便益比（B/C）：1以上
  - 収支採算性：累積損益収支黒字転換年 開業から 40 年以内
- 一定の条件を仮定した試算で、課題であった **事業性（B/C と収支採算性）の改善** を確認

## 2 大江戸線の延伸の効果

大江戸線の延伸は、交通利便性をさらに高め、首都圏の交通ネットワークの強化・充実に寄与するものであり、様々な経済波及効果が期待されています。

### 延伸により期待される効果の例

- ✓ 既存の鉄道駅から1km以上離れた**鉄道空白地域の改善**
- ✓ 都心との相互アクセスの向上による**移動時間の短縮**
- ✓ 新駅予定地周辺でのまちづくりやにぎわい創出の推進による**地域の活性化**
- ✓ 交通利便性の改善、生活利便性の向上に伴う**人口増加**
- ✓ 人口増加による**税収の増加、商業売り上げの増加、地価などの上昇**
- ✓ 道路交通の**混雑緩和**や**CO<sub>2</sub>排出量の減少**
- ✓ 別の交通手段が使えなくなった場合の**代替ルート、災害時の緊急輸送（人・物）手段**としての機能



新しい駅ができることで、人の流れや暮らし方が変わり、まちの可能性が大きく広がります。この機会を活かし、地域の活性化につながる新駅周辺のまちづくりに取り組んでいきます。



### 3 国や東京都の計画における大江戸線延伸の位置づけ



#### 1 国 「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」交通政策審議会答申第198号（2016年4月）

大江戸線の延伸（光が丘～大泉学園町間）については、鉄道ネットワークの充実に資する24のプロジェクトのうち、事業化に向けた合意形成や調整を「進めるべき」6つのプロジェクトの一つとして位置づけられています。

#### 2 東京都 「2050 東京戦略」（2025年3月 東京都）

大江戸線の延伸は、「検討を深度化」、「関係者と事業化について協議・調整を進める」と位置づけられています。

### 4 大江戸線の延伸に関する経緯



昭和47(1972)年 ✓都市交通審議会「東京圏高速鉄道網整備計画」答申第15号

昭和60(1985)年 ✓運輸政策審議会答申第7号 光が丘～大泉学園町間追加

昭和61(1986)年 ✓練馬～光が丘間 着工

昭和63(1988)年 ✓大江戸線延伸促進期成同盟 設立

平成2(1990)年 ✓新宿～練馬間 着工

平成3(1991)年 ✓練馬～光が丘間 開業

平成4(1992)年 ✓西新宿（都庁前）～新宿間（環状部）着工

平成9(1997)年 ✓新宿～練馬間 開業

平成12(2000)年 ✓運輸政策審議会答申第18号 光が丘～大泉学園町間：A2路線（目標年次までに整備着手することが適当である路線）  
✓全線 開業

平成17(2005)年 ✓土支田中央土地区画整理事業 着手

平成18(2006)年 ✓補助230号線 事業認可（笹目通り～土支田通り区間）

平成19(2007)年 ✓補助230号線土支田・高松地区地区計画 決定

平成20(2008)年 ✓土支田中央地区地区計画 決定

平成21(2009)年 ✓補助230号線 事業認可（土支田通り～外環道区間）

平成22(2010)年 ✓補助230号線 事業認可（外環道～大泉学園通り区間）

平成23(2011)年 ✓大江戸線延伸推進基金 設置

平成25(2013)年 ✓補助230号線 交通開放（笹目通り～土支田通り区間）

平成27(2015)年 ✓広域交通ネットワーク計画について（東京都）  
✓東京都との実務的協議 開始

平成28(2016)年 ✓交通政策審議会答申第198号 光が丘～大泉学園町間 ①  
✓補助230号線大泉町三丁目地区地区計画 決定

平成29(2017)年 ✓大江戸線延伸推進会議 設置

令和元(2019)年 ✓「未来の東京」戦略ビジョン（東京都）

令和2(2020)年 ✓補助135号線 事業認可（補助230号線交差部）

令和3(2021)年 ✓「未来の東京」戦略（東京都）  
✓補助230号線 交通開放（土支田通り～別荘橋通り区間）

令和4(2022)年 ✓主要事業に「地下鉄12号線（大江戸線）の延伸に関する調査」と明示した調査費を計上（東京都）  
✓補助230号線大泉学園町地区地区計画 決定  
✓土支田中央土地区画整理事業 完了

令和5(2023)年 ✓副知事をトップとする「大江戸線延伸にかかる庁内検討プロジェクトチーム」設置（東京都）  
✓補助230号線大泉町二丁目地区地区計画 決定

令和7(2025)年 ✓「2050 東京戦略」（東京都）②  
✓大江戸線延伸に関する検討状況を公表（東京都）

令和8(2026)年 ✓補助233号線沿道地区地区計画 決定

凡例

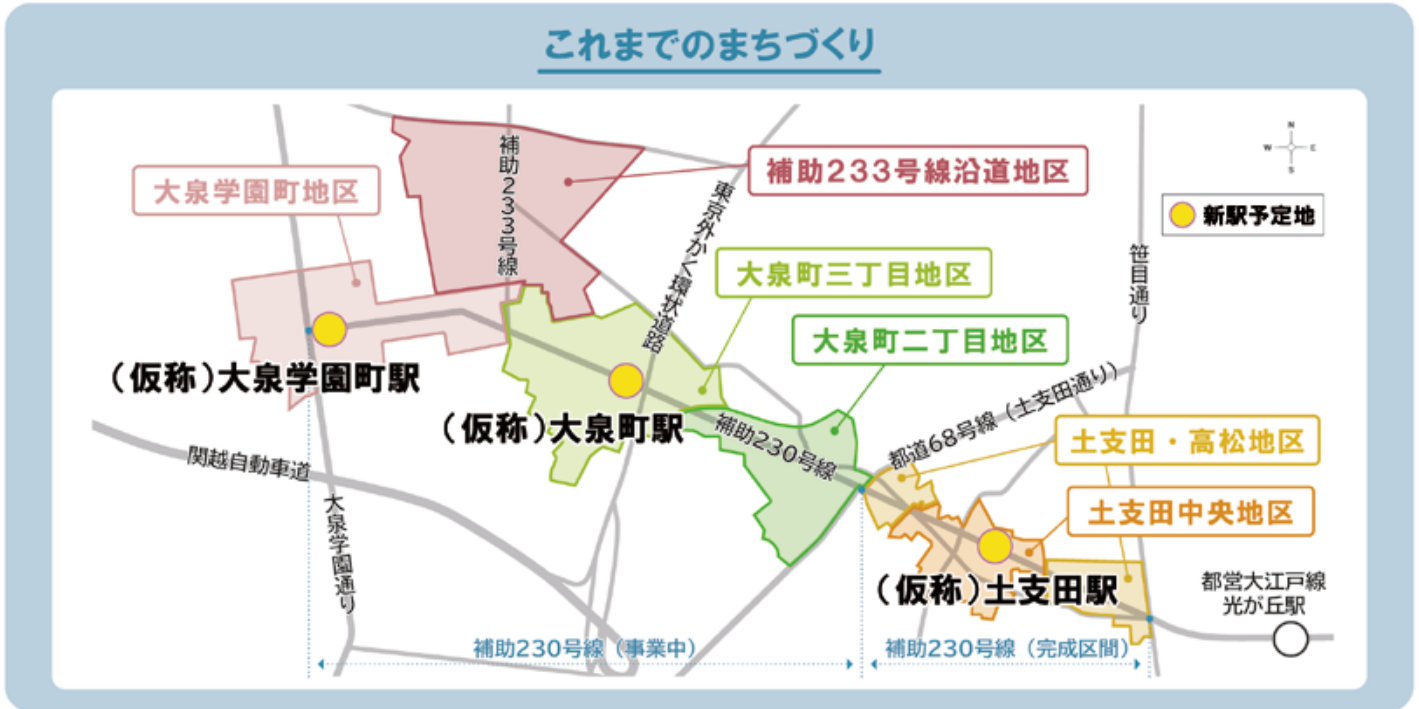
- ✓大江戸線に関する経緯
- ✓関連する事業等の経緯



## 1 延伸地域におけるこれまでのまちづくり

延伸地域では、大江戸線の導入空間となる都市計画道路補助230号線の整備にあわせ、無秩序な市街化を防ぎ、魅力ある街並みへ規制、誘導していくことを目的にまちづくり（地区計画決定等）を進めてきました。今後も、新駅予定地周辺における新たな生活拠点の形成や基盤整備など、新駅開業を見据えたまちづくりを進めていきます。

### これまでのまちづくり



### 1 大泉学園町地区（約 31.4ha）

- ✓ 2022年1月  
地区計画の都市計画決定・告示  
(2026年3月 変更)



### 2 補助233号線沿道地区（約38.2ha）

- ✓ 2026年3月  
地区計画の都市計画決定・告示



### 3 大泉町三丁目地区（約 32.8ha）

- ✓ 2016年10月  
地区計画の都市計画決定・告示  
(2026年3月 変更)



### 4 大泉町二丁目地区（約 19.4ha）

- ✓ 2023年6月  
地区計画の都市計画決定・告示



### 5 土支田中央地区（約 14.3ha）

- ✓ 2005年3月  
土支田中央土地区画整理事業 着手



- ✓ 2008年10月  
地区計画の都市計画決定・告示  
(2015年4月 変更)

- ✓ 2022年3月  
土支田中央土地区画整理事業 完了

### 6 土支田・高松地区（約 11.6ha）

- ✓ 2007年4月  
地区計画の都市計画決定・告示  
(2023年4月 変更)



延伸地域のまちづくりの詳細については、区のホームページでもご覧いただけます。



## 1 まちづくりデザイン策定の目的

01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12

大江戸線の延伸により、交通利便性の向上が期待されるとともに、各新駅予定地周辺では、生活利便性を向上させ、まちをさらに発展させるため、地域の特性を踏まえた新たな拠点づくりが必要です。

そこで、沿線全体の将来像や各新駅予定地周辺の将来像、まちづくりの方針などをとりまとめた、「大江戸線延伸ー沿線まちづくりデザインー」(以下、「まちづくりデザイン」)を策定します。

「まちづくりデザイン」を通して、区民や民間事業者を含む関係者と、延伸後の将来像やそれぞれの役割などを共有しながら、地域の活性化につながる新駅周辺のまちづくり(拠点づくり)を推進していきます。

## 2 まちづくりデザインとは

01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12

### 「大江戸線延伸ー沿線まちづくりデザインー」

#### これまでのまちづくり

詳細は、パネル 2

- ✓ 土地区画整理
- ✓ 地区計画(建替えのルール)の策定等



#### 駅前空間に必要な整備内容

(例)

- ✓ 駅へのアクセス道路
- ✓ 使いやすい駅前広場・駅出入口
- ✓ 駐輪場などの公共施設
- ✓ にぎわいづくり
- ✓ 地下空間の活用
- ✓ ユニバーサルデザイン 等



まちづくりデザインの構成は、パネル 4

## 3 対象範囲

01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12

「まちづくりデザイン」では、各新駅予定地から約1kmを「延伸地域」として設定します。

延伸の事業化や今後のまちづくりの推進により、延伸の効果が延伸地域に限らず、区全体へ波及することが期待されます。




## 1 まちづくりデザイン策定に向けて（策定までの流れ）



「まちづくりデザイン」は、アンケート調査やオープンハウス（パネル展示）等で地域の皆様のご意見を伺いながら検討を進め、策定していきます。

アンケート調査  実施時期 令和8年2月  
 > パネル参照 

### オープンハウスの開催等

ご来場の皆様等からご意見を伺います。 

オープンハウス  
第1回

### 沿線全体や各駅予定地周辺の 魅力・課題・将来像

について想い・考えを教えてください！

第2回オープンハウスに向け、  
本日いただいた皆様の想い・考え等をもとに

沿線全体の将来像（案）・  
各駅予定地周辺の将来像（案）を整理

オープンハウス  
第2回

### 沿線全体の将来像(案) 各駅予定地周辺の将来像(案)

について想い・考えを伺います。

実施時期  
令和8年  
6月下旬

オープンハウス  
第3回

### まちづくりの実現に向けて(案)

についてご意見を伺います。

実施時期  
令和8年  
8月上旬

オープンハウス  
第4回

### 「まちづくりデザイン」(案)

についてご意見を伺います。

実施時期  
令和8年  
9月中旬



### 「まちづくりデザイン」策定

令和8年秋頃

### 「まちづくりデザイン」の構成

#### I はじめに

1. デザイン策定の目的
2. 対象範囲
3. まちづくりデザインの位置付け
4. 策定までの流れ

#### II 大江戸線の延伸

1. 延伸の概要
2. 延伸の効果
3. 延伸の経緯

#### III 延伸地域のまちづくり

1. 沿線まちづくりの経緯
2. 地域の現況
3. 各駅の地域特性（魅力と課題）

#### IV 沿線全体の将来像

1. 沿線まちづくりのキーワード
2. 沿線全体の将来像

#### V 各駅周辺の将来像とまちづくりの方針

1. (仮称) 大泉学園町駅予定地周辺
2. (仮称) 大泉町駅予定地周辺
3. (仮称) 土支田駅予定地周辺

#### VI まちづくりの実現に向けて

1. まちづくりの実現に向けた取組み
2. ロードマップ

## まちづくりデザイン策定に向けたお知らせ・意見募集の方法

オープンハウス各回の開催日時と会場、およびまちづくりデザインの検討状況等については、「大江戸線延伸まちづくりデザインニュース」でお知らせします。

また、各回のオープンハウスで展示するパネルや説明動画、オープンハウスの内容に対するご意見投稿フォームを、[区のホームページ](#)で公開します。

今後、オープンハウス当日に会場にお越しいただくことが難しい場合は、[区のホームページ](#)をご覧ください、ご意見をお聞かせください。

次回以降の開催案内や意見募集の際には、[区のホームページ](#)や区公式LINE・X(旧 Twitter)等でお知らせします。



<練馬区HP>

## 1 アンケート調査の実施概要

「まちづくりデザイン」の策定に向け、延伸後の将来像やまちづくりの検討を進めるため、地域の3,000名の方（無作為で抽出）を対象にアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。

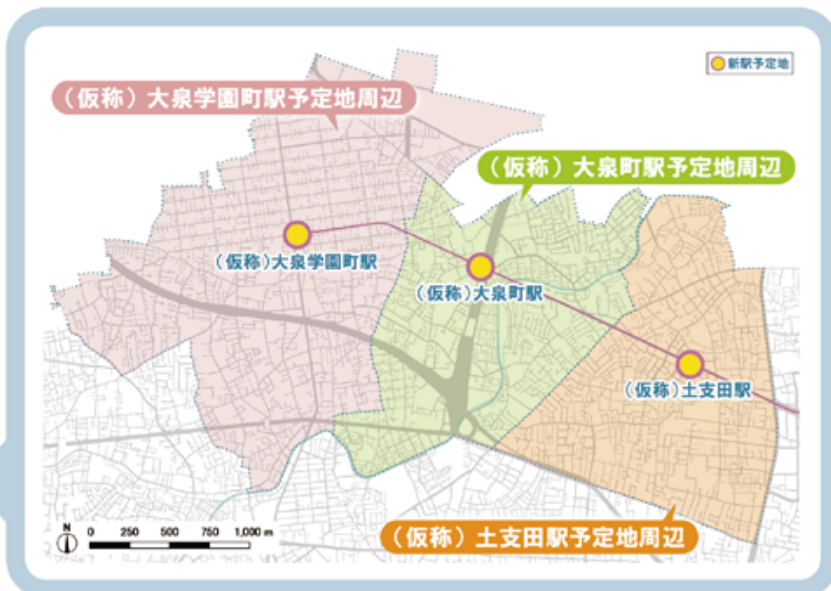
### 1 調査期間

令和8年2月3日（火）～2月27日（金）

### 2 調査対象者

18歳以上の3,000名（無作為で抽出）  
下記の3駅予定地周辺で1,000名ずつ抽出

（仮称）大泉学園町駅 予定地周辺	大泉学園町一～九丁目、 西大泉四丁目
（仮称）大泉町駅 予定地周辺	大泉町一～六丁目
（仮称）土支田駅 予定地周辺	土支田一～四丁目、高松六丁目、 谷原三・四・六丁目、三原台二丁目

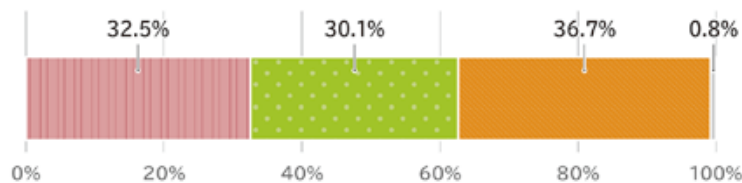


## 2 アンケート調査の結果

### 1 回答数・回収率

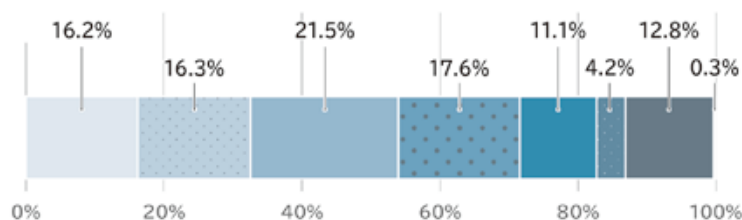
回答数 **1,053件**（紙面：616件、WEB回答：437件）、回収率 **35.1%**

### 2 回答者の居住地域（n=1,053件）



- （仮称）大泉学園町駅予定地周辺
- （仮称）大泉町駅予定地周辺
- （仮称）土支田駅予定地周辺
- 無回答

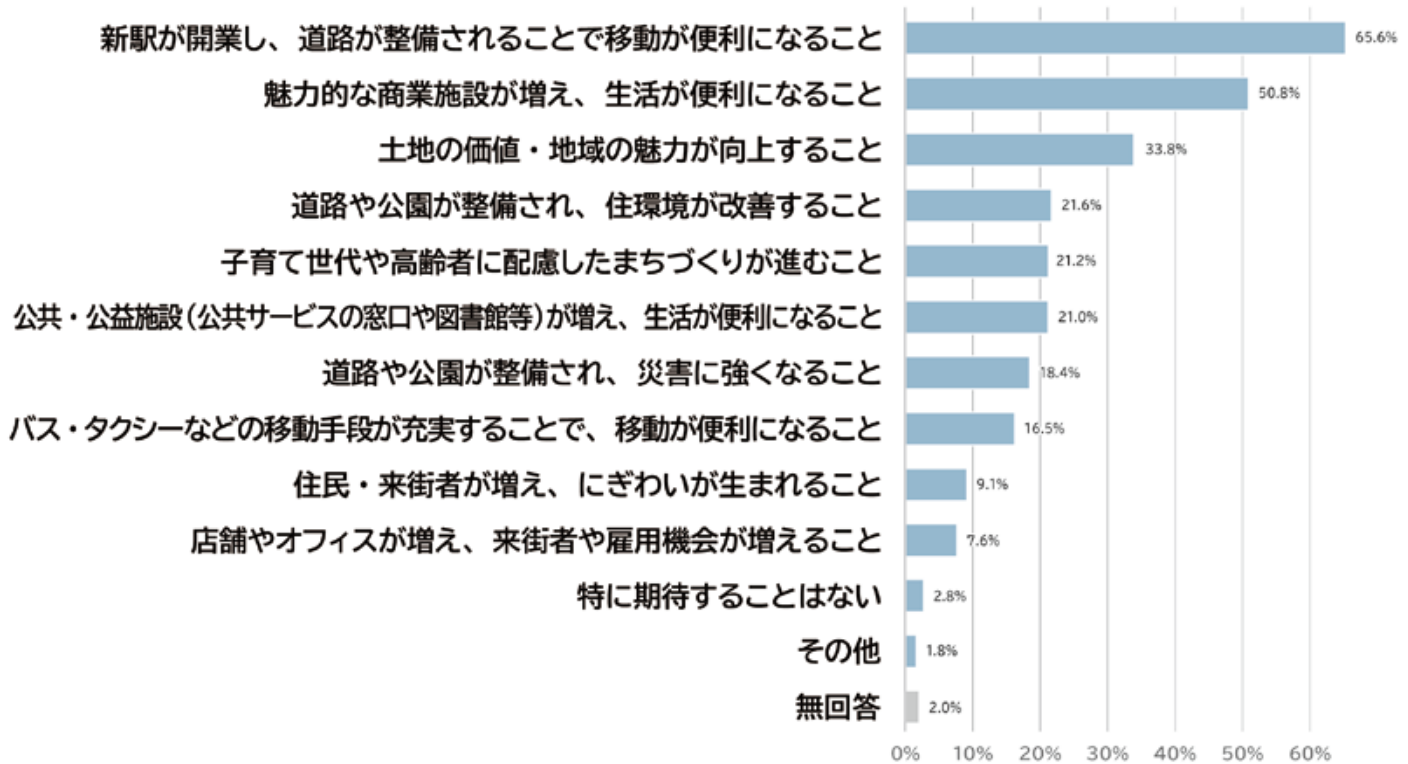
### 3 回答者の年齢（n=1,053件）



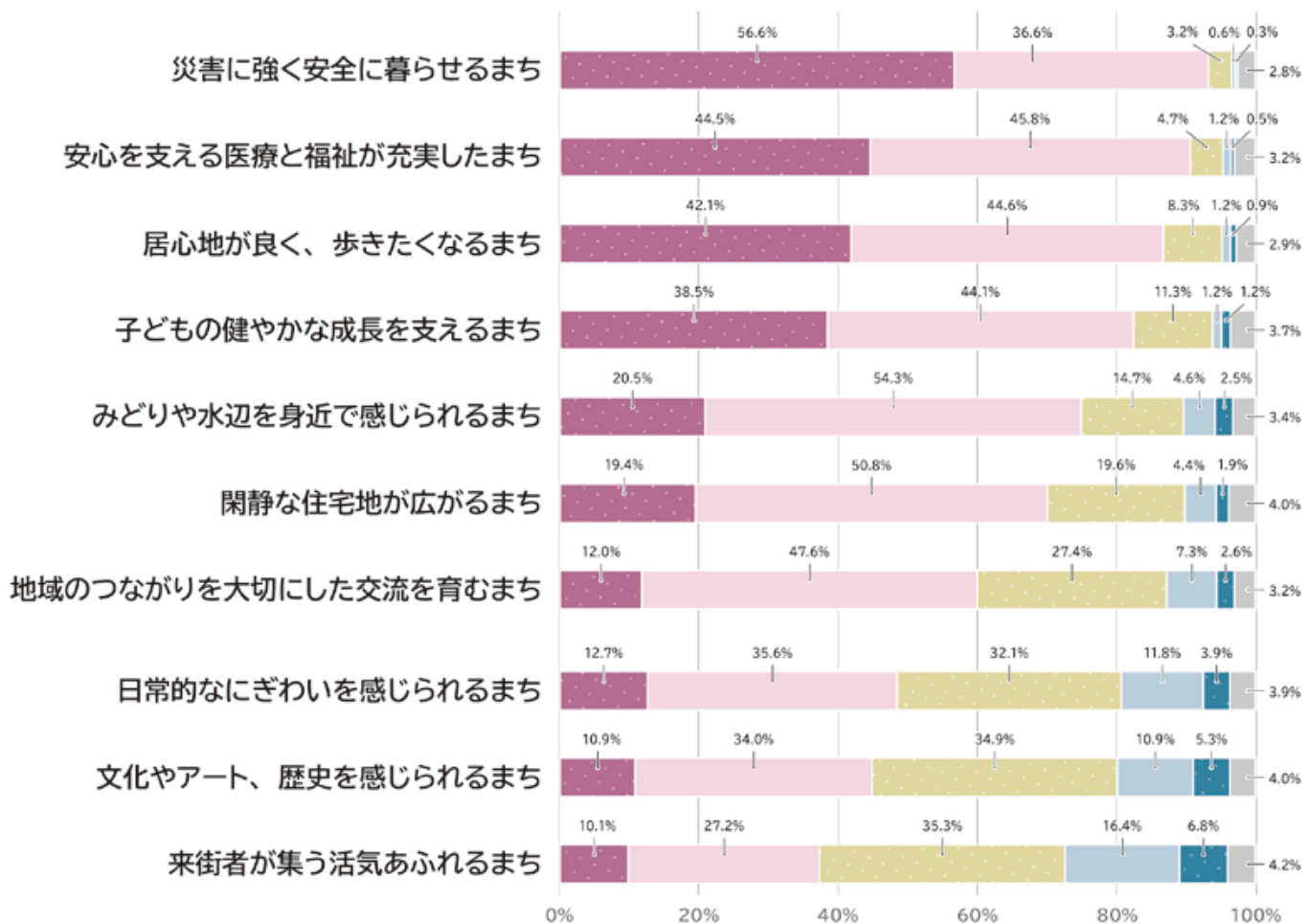
- 18～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～69歳
- 70～74歳
- 75歳以上
- 無回答



#### 4 大江戸線延伸に伴うまちの変化に対して期待すること (n=1,053件)



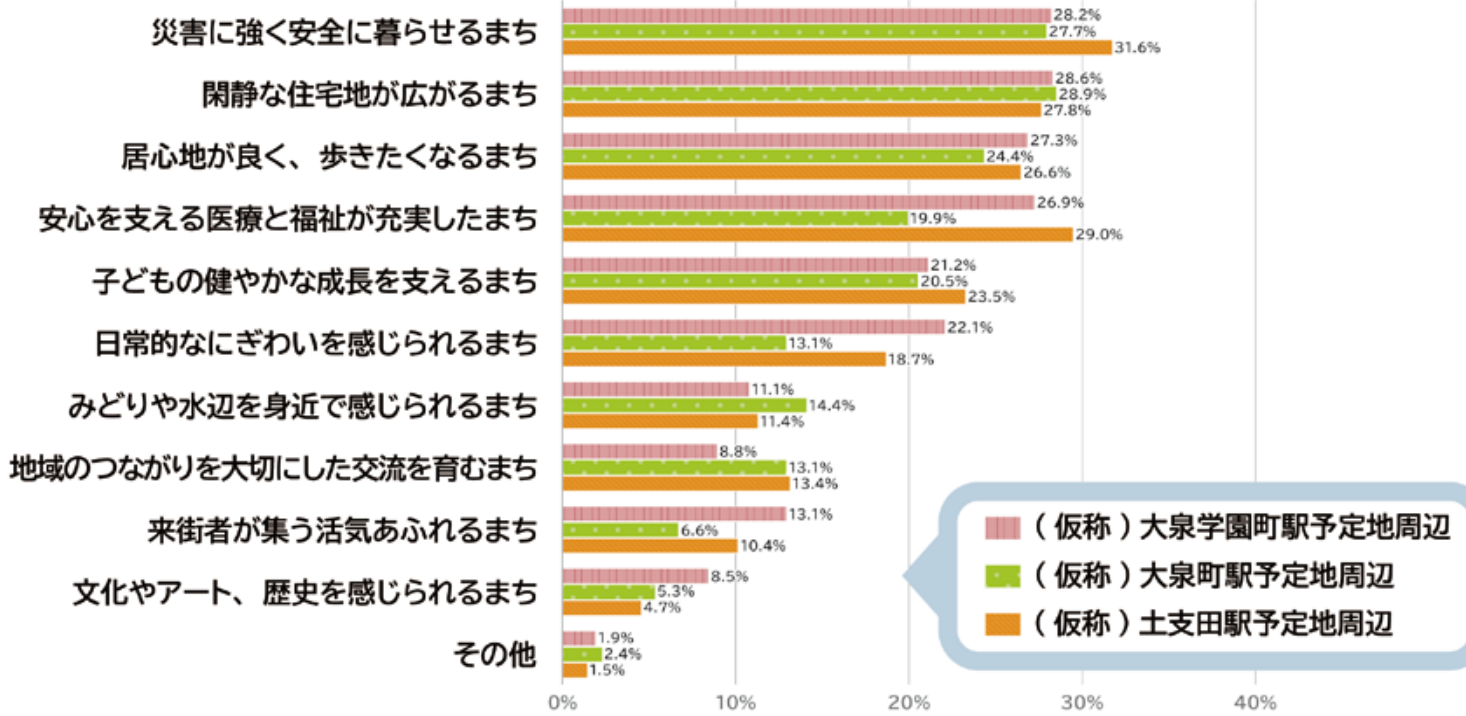
#### 5 大江戸線沿線全体の将来像のイメージ (n=1,053件)



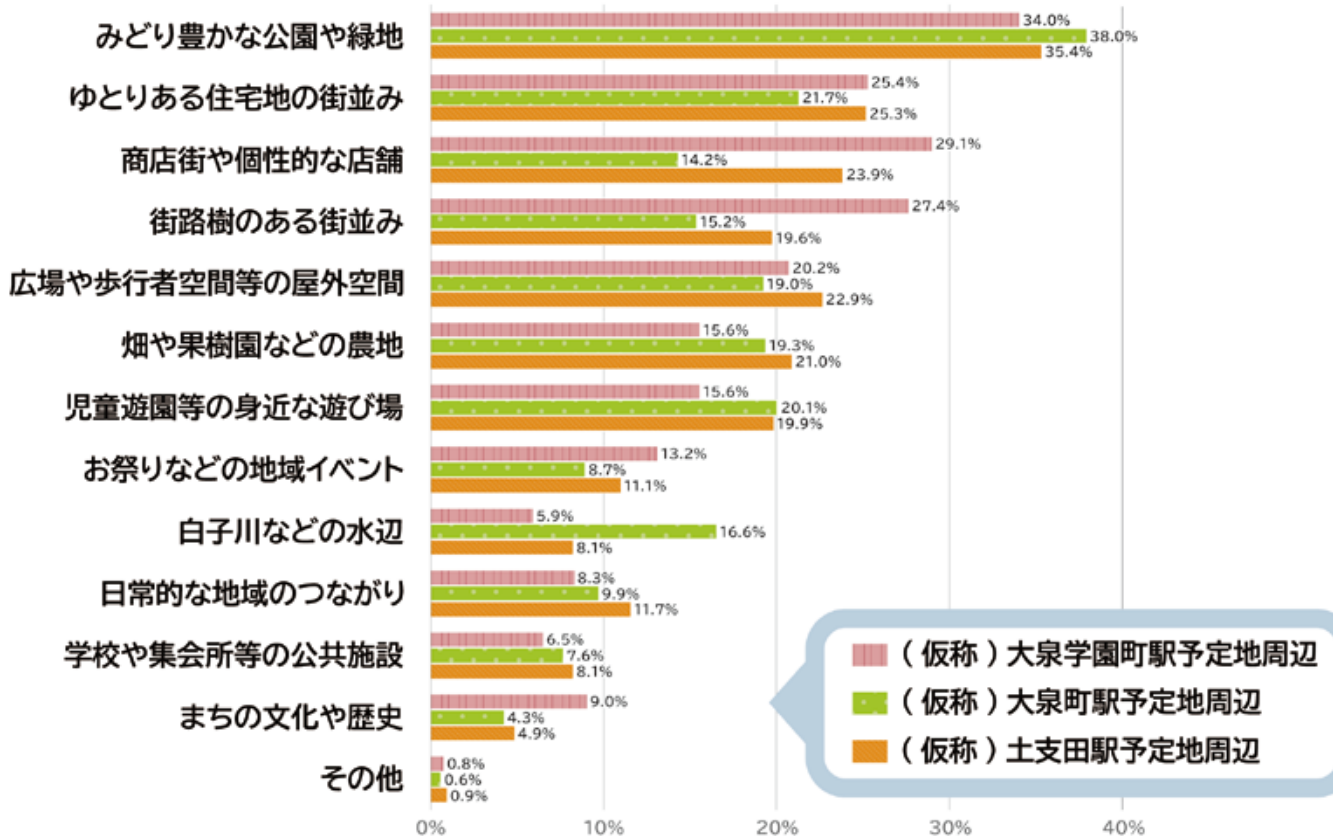
特に重要だと思う
  重要だと思う
  どちらでもない

あまり重要だと思わない
  重要だと思わない
  無回答

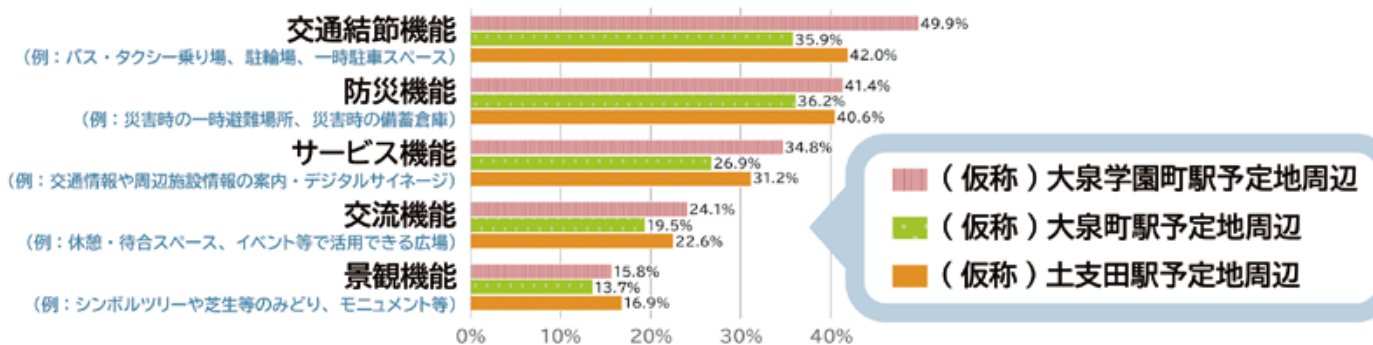
## 6 各駅予定地周辺の将来像にふさわしいと思うイメージ (n=1,053 件)



## 7 駅予定地周辺の将来像の実現に向けて、今後のまちづくりに活かしたいまちの魅力 (n=1,053 件)



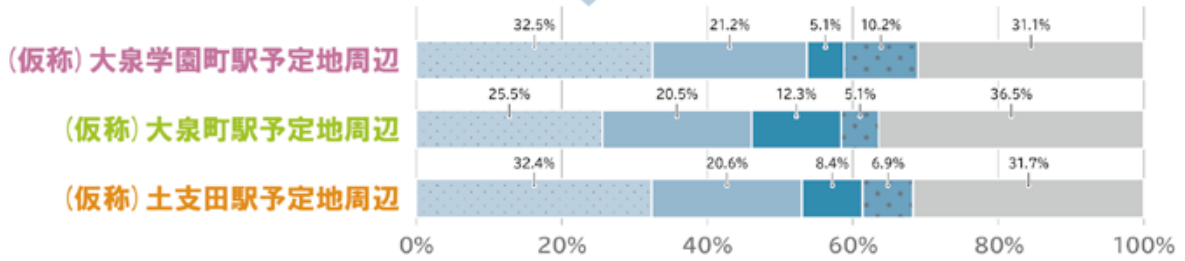
## 8 「駅・駅前広場」において、特に重要だと思う機能 (n=1,053 件)



9 「駅周辺」において、あると良いと思う要素 (n=1,053件)

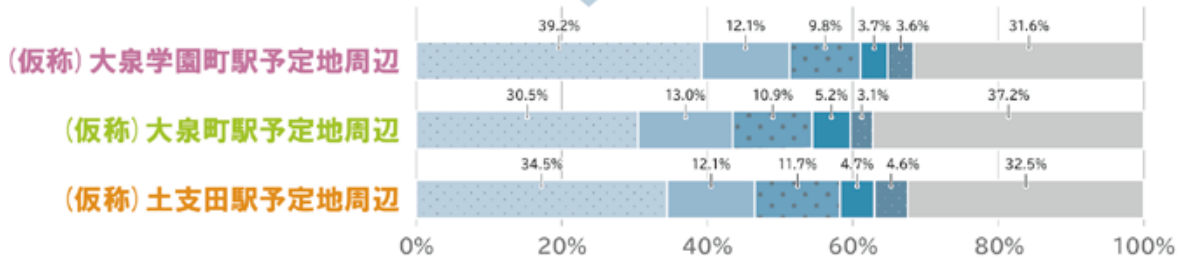
交通・基盤

- 歩行者空間と自動車・自転車の走行空間の分離
- 駅まで段差の少ない、歩きやすい道路や歩道
- 自然を感じられる歩行者空間
- にぎわいを楽しめる歩行者空間
- 無回答



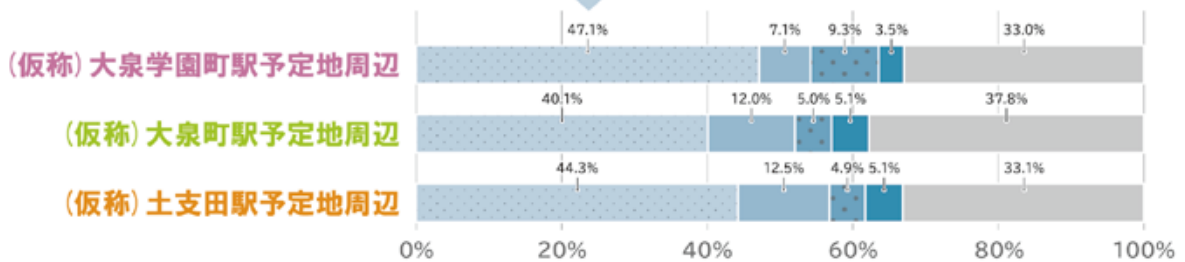
暮らし・安全安心

- 日常の買い物ができる商業施設
- 病院・診療所などの医療・福祉施設
- 公共サービスの窓口や図書館などの公共施設
- 保育所などの子育て支援施設
- 仕事や勉強ができるスペースのある施設
- 無回答



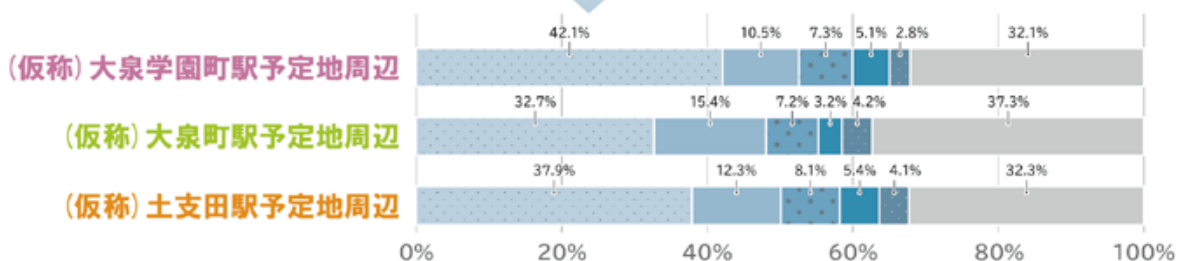
みどり・景観

- みどりを身近に感じられるオープンスペース
- 体験農園などの農業を身近に感じられる場所
- 歴史的・文化的な要素が感じられる場所
- 地域住民で手入れができる花壇
- 無回答



にぎわい・活気

- 飲食店やカフェ等の休憩・休息スペース
- 公園などの子どもや高齢者が集う憩いの場所
- マルシェ等のイベントで活用できる場所
- 来街者を呼び込めるにぎわい施設
- 地域活動ができる会議スペースなどの交流機能
- 無回答





# (仮称)大泉町駅予定地周辺の現況

## 1 (仮称)大泉町駅予定地の特徴

歴史

✓ かつては田畑が広がり稲作が行われており、昭和30年代後半頃から都市化が進んだ

暮らし

- ✓ 居住者のうち老年人口(65歳以上)の占める割合が高い
- ✓ 住宅用地に加え、公共用地や農地等の土地利用割合が高い
- ✓ 北部には大泉町もみじやま公園や都市農地等など、豊かなみどりの集積がみられ、緑被率が高い
- ✓ 新駅予定地周辺に立地している、商店等の生活利便施設の数が少ない

安全安心

- ✓ 白子川沿いを中心に、水害や土砂災害等の発生リスクが他の延伸地域に比べて高くなっている
- ✓ 地区内には狭い・暗い道路や行き止まり等が存在

まちづくり

- ✓ 大泉風致地区として指定されており、良好な景観を保持
- ✓ 景観ポイントや指定・登録文化財が多く存在し、白子川沿いに桜の木が並び、水とみどりの軸にも位置づけられている

### 風景



## 2 アンケート調査で寄せられたご意見



### (仮称)大泉町駅の利用予定者が延伸後に期待する変化

- 1位 新駅が開業し、道路が整備されることで移動が便利になること
- 2位 魅力的な商業施設が増え、生活が便利になること
- 3位 土地の価値・地域の魅力が向上すること

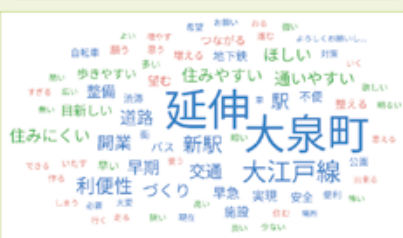
### (仮称)大泉町駅予定地周辺の将来像にふさわしいと思うイメージ

- 1位 閑静な住宅地が広がるまち
- 2位 災害に強く安全に暮らせるまち
- 3位 居心地が良く、歩きたくなるまち

### 将来像の実現に向けて活かしたいまちの魅力

- 1位 みどり豊かな公園や緑地
- 2位 ゆとりある住宅地の街並み
- 3位 児童遊園等の身近な遊び場
- 4位 畑や果樹園などの農地
- 5位 広場や歩行者空間等の屋外空間

### (仮称)大泉町駅の利用予定者が今後のまちづくりに求めること(自由記述)



※大きく表示されている単語は、そのテキストを特徴づける単語  
 ※青色:名詞 赤色:動詞 緑色:形容詞にて表示

※ユーザーからテキストマイニングツール「https://textmine.usertalk.jp/」による分析

## (仮称)大泉町駅予定地周辺の魅力と課題

### 魅力

- ✓ 公園や畑、白子川など、多様なみどりを楽しむことができ、みどりを活かすことで来訪目的の創出・強化が可能な地域
- ✓ 地域らしい景観や文化財が保持されており、自然と文化の両面からの魅力が強み
- ✓ 外環側道など、歩きやすい空間が広がっている

### 課題

- ✓ 生活利便施設の集積に弱みを抱えており、今後は新駅や新しく整備される道路等と連携した生活利便性の高いまちづくりが必要
- ✓ 坂の多い地域であり、高低差を踏まえた施設配置や移動環境の検討が必要
- ✓ 水害等の災害リスクに対応し、安心して暮らし続けることができるまちづくりが必要



あなたの思い・考えを教えてください！

(仮称)大泉町駅予定地周辺の魅力と課題について「第1回オープンハウス 来場者アンケート」にご記入ください！



# (仮称)土支田駅予定地周辺の現況

## 1 (仮称)土支田駅予定地の特徴

歴史

- ✓ かつては畑地が広がり屋敷林が点在する農村特有の姿がみられた
- ✓ 土地区画整理事業により基盤整備が行われた

暮らし

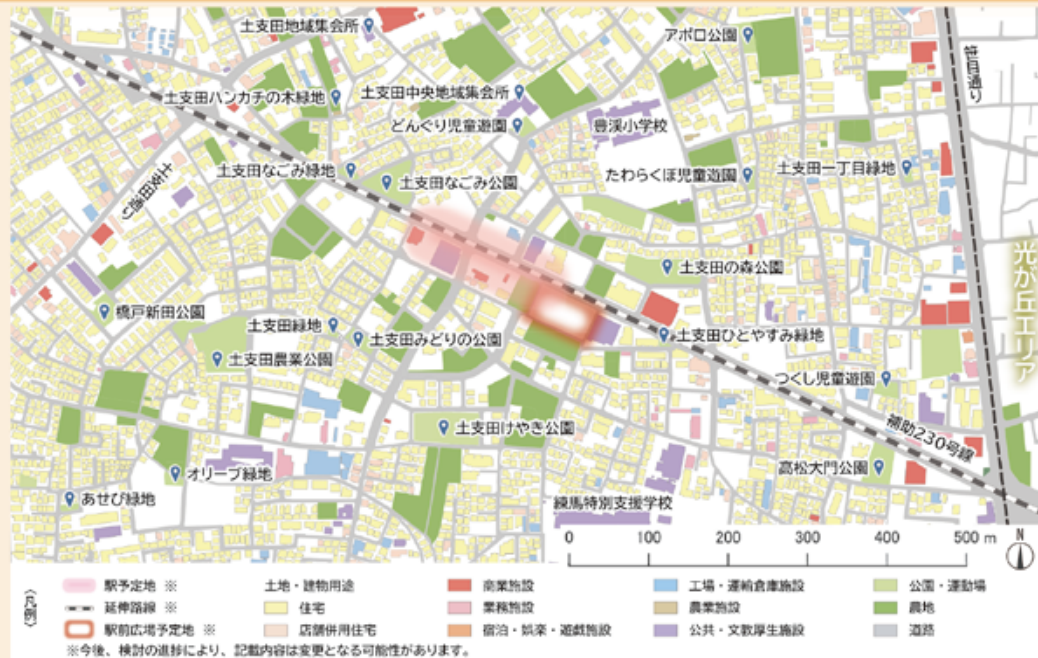
- ✓ 居住者の生産年齢人口(0~14歳)の占める割合が高い
- ✓ 住宅用地に加え、公共用地や商業用地、農地等の土地利用割合が高い
- ✓ 商業施設は、笹目通り沿いや土支田通り沿い、補助230号線沿いを中心に立地している

みどり

- ✓ 憩いの森・街かどの森など、比較的大きな公園が連なって立地しており、それら施設に沿うようにねりまの散歩道が設定されている

まちづくり

- ✓ 土地区画整理事業によって交通広場の用地が確保されている
- ✓ 土地区画整理事業等によって都市計画道路の整備が完了しており、自転車専用通行帯・自転車歩行者道が整備されている



## 2 アンケート調査で寄せられたご意見



### (仮称)土支田駅の利用予定者が延伸後に期待する変化

- 1位 新駅が開業し、道路が整備されることで移動が便利になること
- 2位 魅力的な商業施設が増え、生活が便利になること
- 3位 土地の価値・地域の魅力が向上すること

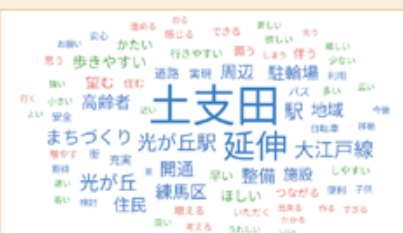
### (仮称)土支田駅予定地周辺の将来像にふさわしいと思うイメージ

- 1位 災害に強く安全に暮らせるまち
- 2位 安心を支える医療と福祉が充実したまち
- 3位 閑静な住宅地が広がるまち

### 将来像の実現に向けて活かしたいまちの魅力

- 1位 みどり豊かな公園や緑地
- 2位 ゆとりある住宅地の街並み
- 3位 商店街や個性的な店舗
- 4位 広場や歩行者空間等の屋外空間
- 5位 畑や果樹園などの農地

### (仮称)土支田駅の利用予定者が今後のまちづくりに求めること(自由記述)



\*大きく表示されている単語は、そのテキストを特徴づける単語  
\*青色:名詞 赤色:動詞 緑色:形容詞にて表示

## (仮称)土支田駅予定地周辺の魅力と課題

### 魅力

- ✓ 農業公園などのコミュニティ形成に資するみどりのある地域
- ✓ 住みやすさとみどり豊かな景観を備えたまちづくりが進んでいる
- ✓ 野菜や果物などの直売所が多い地域

### 課題

- ✓ 新駅予定地周辺の生活利便施設と多様なみどりとの共存が必要
- ✓ 新駅予定地周辺には、駐輪場の整備が必要
- ✓ 駅前では、鉄道と他の交通手段との乗り換えをスムーズにできる工夫が必要



あなたの思い・考えを教えてください!

(仮称)土支田駅予定地周辺の魅力と課題について「第1回オープンハウス 来場者アンケート」にご記入ください!

